

《その他科目 スキルアップ科目》

科目名	チャレンジ講座				
担当者氏名	美濃 守隆				
授業方法	講義	単位・必選	0単位・選択	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

大阪府教委が実施する教員チャレンジテスト対策を行います。
 教職教養、教育関連の法規、教育公務員の倫理（服務規律）、教育時事、思考力・判断力を問う問題（文章理解、判断推理、数的処理、資料解釈等）の演習を行います。
 毎回、教職教養と思考・判断の問題による演習を実施します。

《授業の到達目標》

教員チャレンジテストで一問でも多く得点できるよう、各自の不得意分野を克服して、合格を目指す。

《成績評価の方法》

この授業は、単位は出ません。
 毎回の自己評価の積み重ねで評価してください。

《テキスト》

毎回、教材は準備しますが、受講生による持ち込み教材も大歓迎です。

《参考図書》

小学校学習指導要領(平成29年告示)文科省、生徒指導提要(平成22年)文科省等、教職に関する科目の授業で使った教科書を活用する。
 判断力を問う問題集（例えば、SPI）を各自で入手しておく。

《授業時間外学習》

大学のサーバーにある過去問で自習しておいて、各自の得意、不得意の確認をしておいてください。
 この授業だけでなく、普段の努力と不断の努力が重要です。

《備考》

判断推理、数的処理等の指導を通して、高校で習わなかった科目(物理や化学)も指導します。4年次生には、採用試験に不合格でも来年の受験準備になります。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	授業の進め方、教員チャレンジテストの受験について、学修計画の作成
2	プレテスト	各自の得意・不得意分野を確認する
3	教職教養(方法)・文章理解	教職教養は方法技術に関して演習する。 文章理解は文の読み取り、文の並べ替え等を演習する。
4	教育関連法規・判断推理	主な教育関連法規に関して演習する。 パズルや事実の組み合わせによる判断推理を演習する。
5	教職教養(心理)・数的処理	教職教養は心理学に関して演習する。 物理・化学の原理、法則を使った数的処理を演習する。
6	服務規律・資料解釈	服務規律に関する事例で演習する。 グラフや資料読み取りによる資料解釈を演習する。
7	教職教養(原理)・文章理解	教職教養は教育理論に関して演習する。 文章理解は英文等を使って演習する。
8	生徒理解・判断推理	生徒理解に関して演習する。 判断推理は中学・高校の教材より演習する。
9	中間テスト	中間テストを通して、これまでの学習成果をチェックし、各自の課題を確認する。
10	不得意分野の克服1	教職教養関連の演習をする。
11	不得意分野の克服2	文章理解、判断推理の演習をする。
12	不得意分野の克服3	数的処理、資料解釈の演習をする。
13	教員チャレンジテストの振り返り	教員チャレンジテストを振り返り、自己採点と課題の確認
14	教採の準備1	各地の教採の特徴
15	教採の準備2	大阪府・大阪市・豊能地区・堺市の教採の特徴と出題傾向